

Governor's Monthly Communication

ガバナー月信

VOL.

12

2024.6.1

Rotary International District 2690 [2023-24]

2023-24年度
国際ロータリー会長
ゴードン R. マッキナリー

国際ロータリー第2690地区（鳥取・島根・岡山）
2023-24年度地区ガバナー
石倉 貞昭

Contents

ロータリー親睦活動月間によせて	2
第36回全国ロータリーアクト研修会（山形市）に 参加して	3
国際ロータリー青少年交換プログラム 中四国3地区合同研修旅行（松江・出雲）開催報告	4
国際ロータリー第2690地区2024学年度ロータリー 米山記念奨学生オリエンテーション	5
ガバナーノミニーマジグネートのご紹介	6
ガバナーノミニーマジグネート研修セミナー報告	7
第2回地区インターアクト委員会・ インターアクト地区協議会開催報告	8
第8・第9グループIM開催報告	9
第6グループIM開催報告	10
第1・第2グループIM開催報告	11
岡山岡南ロータリークラブ 創立30周年記念式典・祝宴報告	12
岡山西南ロータリークラブ 創立55周年を迎えて	13
岡山後楽園ロータリークラブ 創立35周年記念式典・祝賀会報告	14
倉吉中央ロータリークラブ創立30周年を迎えて	15
出雲ロータリークラブ 創立70周年記念式典報告	16
2023-24年度ロータリー財団 地区補助金奨学生報告（第2回）	17・18
地区だより	19
会員数報告	20



Rotary
第2690地区



世界に希望を生み出そう

葛飾北斎「諸国瀧廻り 下野黒髪山きりふりの滝」島根県立美術館蔵



ロータリー親睦活動月間によせて

地区ガバナー

石倉 貞昭

Ishikura Sadaaki



○コミュニティ

人類は家族を形成し、共同体を形成し、共に食事をとることで生活を営んできました。食事というのは、もともと平和の約束であり、同じ食事の席についているということは、「私たちは戦いません」という不戦宣言を意味しているそうです。

人間にとって、食事の席というのは家族や仲間にとって大変有効なコミュニケーションの場となり得ます。このコミュニケーションの場は、家族愛、友情、親睦にとって大変重要な時間と空間を醸し出している平和の象徴です。

「クラブ」という組織も、もともとはお茶やコーヒーを飲みながら、あるいは食事を取りながら始まったのです。家族で食事をするとは、家族の幸福と平和の基本であり、ロータリーで食事を共にしながら交流することは、ロータリーの目的、使命と価値観に沿う基本となると考えます。

○ロータリーにおける親睦の意義

クラブ基盤の本質は、なんといっても会員同士の親睦にあります。ロータリーの中核的価値観として、親睦、高潔性、多様性、奉仕、リーダーシップの五項目が挙げられていますが、ロータリアンのほとんどがロータリーについて語るとき、二本柱として親睦と奉仕を挙げています。それほど親睦はロータリー発足当初から重要視されてきました。しかし親睦と訳されたFellowshipは、むしろ連帯感とか協調という意味であり、Service奉仕、思いやりにつながるものなのです。

Fellowship はロータリーの引力であり、Service はロータリーの原動力となるものです。「入りて学び、出でて奉仕せよ」の言葉通り、例会の場で職業の情報交換や事業の持続性、奉仕の理念などを学び、自己研鑽を図りつつ職場や家庭に持ち帰って、奉仕の実践をしていくことが望ましい姿と言えます。

したがって、奉仕の理念が 人生を幸福に導き、社会や世界を平和に導く哲学であることを学び、かつロータリアンが心を通わせ結合していくことが本来のFellowshipすなわち親睦であることを認識しなければなりません。

単にお酒を飲みゴルフをすることだけが親睦ではありません。たしかに、親睦を深める手段としてこれらの企画をすることは必要ですが、親睦を深める最適な場所は、なんといっても基本は例会にあります。

親睦委員会やプログラム委員会など例会に関連する委員会においては、例会時に食事を共にしながら分かち合い、会員同士がつながり友情を深め、心温まる場と空気を創り出していくことが、より重要な課題となります。

私は昨年7月から地区内65クラブの公式訪問をさせていただきました。その中で感じた印象として、元気のいいクラブは毎週例会を開いていること、そしてホームクラブの出席率が80%以上と高いことに気が付きました。

例会の重要性を改めて認識した次第であります。

参考文献 ロータリーガイドブック

第36回全国ローターアクト研修会（山形市）に参加して

地区ローターアクト委員会委員長

大内 茂 Ohuchi Shigeru

（松江しんじ湖RC）



2024年3月23日、24日に山形市で開催された第36回全国ローターアクト研修会に参加してきました。全国ローターアクト研修会は、日本全国各地よりローターアクトが一堂に会し、能力向上と関係強化を図る大切な機会であり、若い世代のリーダーシップと奉仕の精神を育む、ローターアクト最大の行事です。

【プログラム】

第2800地区バストガバナー鈴木様による基調講演「ローターアクトの可能性」から始まりました。ローターアクトへの期待、資金面を含めての「自立」、「自律」、そして知識、発見、活動を展開する「リーダーシップ」、「RCとRAの複合体」で奉仕を展開するお話を頂きました。

・国際交流をテーマにした「パネルディスカッション」では、日本で初めてRACからのグローバル補助金に挑戦した大阪東RACのお話がありました。最初の申請で不採用になりましたが、あきらめず、修正・再申請を行い採用されたとのことでした。

・「グループディスカッション」は5つのテーマに分かれて行われました。右に示したとおり、興味ある意見交換が行われました。

・全国代表者会議は、全国のRC代表者50名、RAC代表者90名で開催されました。1時間という時間の中、次回（大阪北）研修会の計画、次々回（東京南部）の準備状況、次々々回（長野）の立候補地等の用意周到な報告・協議・審議が行われました。

・大類準人様による基調講演「14年目の途上国支援」は、発展途上国支援にあたりゼロからイチを生み出すことをしてこられた方のお話は説得力がありました。

・各地区のRA紹介のステージでは、地区RAの熱気あふれる自己紹介に好感がもてました。開催資料に全国34地区RAの紹介が17頁にわたって掲載されており、全国各地RAの実情が少し、イメージできました。

【考察】

この全国研修会で、若いローターアクトの熱意、エネルギーを感じました。しかし、ローターアクトの重要問題として、会員減少があります。

ローターアクトは全国34地区に約300クラブ、会員2500人、1クラブ当たり平均8人です。2690地区（鳥取・島根・岡山）のロータリーが65クラブ、会員数2969人、平均45人／クラブと比べると、

ローターアクトの1クラブ当たり会員数が少ないのです。

なぜ、RCに比べ、1クラブ当たり会員数が少ないのにRACが継続できているのか、興味を持ちました。若い男女ローターアクトが奉仕を通じての親睦を楽しんでいることに加え、提唱クラブからの助成金により、他地区との多様な交流が可能になっていると考えます。

今後、この研修会を機会として全国のローターアクトが「自立」、「会員の拡大」に努め、ロータリーとローターアクトが協力して、社会に貢献する奉仕活動を発展していくことを期待しています。

「グループディスカッション」での主要意見

テーマ①入会のきっかけ、継続理由

- ・きっかけ：身内からの誘い、ボランティア活動に興味があった
- ・継続理由：自身の成長につながる。交流が広がる、誰かの為に活動するのが楽しい

テーマ②地区、クラブの特色とその活かし方

- ・自クラブの特色を強みとして地域のイベントへ参加し知名度を上げ会員増強につなげる。
- ・クラウドファンディング、チャリティオークションを行い、運営資金、募金に充当した。

テーマ③地域社会との関わり

- ・活動：震災チャリティマラソン、フットサル大会、子ども食堂、お祭り参加、清掃、施設訪問
- ・アクトの知名度アップのためにSNSや新聞等のメディアを活用すべき

テーマ④友好地区・地区内外クラブとの親睦

- ・SNSを活用して他地区の事務局だけでなく、他地区個人の知り合いにも紹介する。
- ・自分から他地区の行事に参加し、コミュニケーションをとる。

テーマ⑤ロータリーとの関わり

- ・ロータリーの方から、ローターアクト側の内情、活動内容を知って欲しい
- ・活動資金の調達方法について相談したい。



全国研修会



全国代表者会議



国際ロータリー青少年交換プログラム 中四国3地区合同研修旅行（松江・出雲） 開催報告

青少年交換委員会副委員長

吉村 充司

Yoshimura Atsushi

（岡山南RC）



3月30日（土）・31日（日）、国際ロータリー青少年交換プログラム中四国3地区合同研修旅行が開催されました。コロナ禍前までは京都等での開催でしたが、地区内の魅力ある日本文化を体験してもらおうと、幹事地区である第2690地区そして中村寿男地区青少年交換委員長のお膝下である島根県にて開催いたしました。

研修旅行には、受入学生13名、派遣予定学生7名、ロータリアンおよび関係者13名の総勢33名が参加いたしました。

1日目は出雲大社。通常は拝殿からの参拝となるのですが、今回は特別な計らいにより、八足門をくぐり御本殿前にて執り行う正式参拝という貴重な経験をさせていただきました。出雲大社では作法も「2礼4拍手1礼」。交換学生たちも凛とした厳かな雰囲気を感じ取ったのか、どこか神妙な面持ちで参拝をしていました。正式参拝は日本人にとっても滅多に体験できない貴重な体験となりました。参拝後は、十九社（じゅうくしゃ）、素鷲社（そがのやしる）、神楽殿（かぐらでん）など境内をご案内いただき、古代出雲歴史博物館にて出雲神話について学びました。

出雲大社は“えんむすび”の神として慕われていますが、この“縁”は生きとし生けるものがともに豊かに栄えていくための貴い結びつきを意味するとのこと。ロータリー青少年交換の目的である、異文化を理解し、国境を越えた友情と信頼を築く機会をもたらす地として、この上ない場所でした。

2日目は国宝松江城。慶長16年完成の松江城天守は、全国に12城しか残っていない現存天守の1つで、彦根城、姫路城と並び、近世城郭最盛期を代表する天守として国

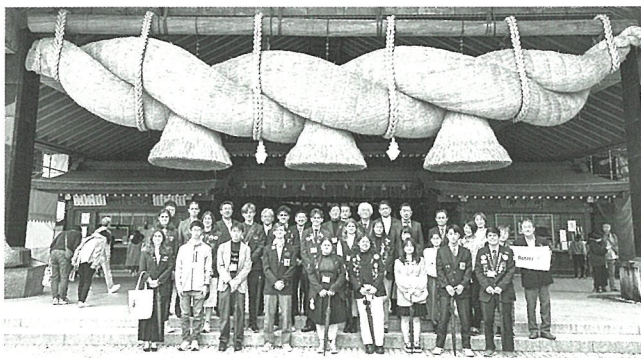
宝に指定されています。見た目の派手さはないですが、落ち着いた佇まいの松江城に学生たちも歴史情緒を感じているようでした。

その後は、屋根付きの小さなこたつ船に乗り堀川遊覧。城をぐるりと囲うお堀に浮かんで、靴を脱いでべたりと腰を下ろし、低い橋を通過する際には、船頭さんの掛け声で一斉にうつぶせになると屋根が下りてくるという仕掛けに歓声をあげながら、早春のうつろう自然と江戸時代の風情を味わいながら、小泉八雲の伝記にふれ、情緒豊かな時間を過ごしました。

そこから静寂に囲まれた風情豊かな山間に移動。松江藩松平家7代藩主治郷（不昧公）の指図により開設された重要文化財「菅田庵（かんでんあん）」にて老舗中村茶舗の抹茶で茶道体験。不昧公は放鷹の折など度々ここに臨み、御風呂屋に憩い、菴で喫茶されたそうです。さすがに正座には不慣れなようで、しびれを我慢しながら茶道の所作を学んでいました。

3地区の受入学生や派遣学生が集合するのは3地区合同オリエンテーションと今回の年2回のみ。今回は2度目とあってか、集合した時点から久々の再会を喜び、和気藹々と交流しておりました。各地からの移動時間の関係もあり集合から解散まで24時間という短い時間でしたが、他地区の交換学生と触れ合うことのできる貴重な機会となり、またロータリアン同士も地区の枠を超えて意見交換のできる場となりました。

最後になりますが、今回の合同研修旅行を企画、運営いただいた皆様、特に島根県内ロータリアンのご尽力に感謝申し上げます。ありがとうございました。



国際ロータリー第2690地区2024学年度
ロータリー米山記念奨学生オリエンテーション

日時：2024年4月14日(日) 13:00～15:30
会場：松江テルサ4階 大会議室
司会：地区庶務幹事 小草 牧子

4月14日、米山記念奨学生オリエンテーションが右記の進行で行われました。新規奨学生19名、継続奨学生7名は奨学生としての心得と義務の説明を受け、確約書に確認承諾のサインをし、正式な米山奨学生となりました。奨学生をしっかりと支援し、未来に向かって国際交流と奉仕の輪を広げてまいりましょう。

- 1. 開会のことば
- 2. ご来賓・地区役員紹介
- 3. ご祝辞
- 4. オリエンテーション
- 5. ショートスピーチ
- 6. 閉会のことば
- 7. 閉会

地区代表幹事 幡 宏明
地区米山記念奨学委員会委員長 又賀 敬子
(公財)ロータリー米山記念奨学会評議員 岩崎 陽一
地区米山記念奨学委員会委員長 又賀 敬子
ロータリー米山記念奨学生
地区ガバナーノミニー 坂口 元昭

2024学年度ロータリー米山記念奨学生

【新規奨学生】(19名)

氏 名	国 籍	学校名称 (校舎)	専 攻	世話クラブ	米山カウンセラー
ティ 程 可	中国	鳥取大学	工学	鳥 取	福岡登美子
イ 李 浚瑞	韓国	公立鳥取環境大学	経営学	鳥 取 西	矢谷 英志
リー ジャーシェン	マレーシア	鳥取大学	生命科学	米 子	長谷川純一
チョン 張 ハンウエイ 瀚偉	マレーシア	島根大学	理工学	松江しんじ湖	古安 正好
サン タロ	カンボジア	吉備国際大学	経営社会学	高 梁	松本 圭司
ファム トウイ リン	ベトナム	くらしき作陽大学	食物学	倉 敷 南	山本由佳里
オウ 汪 トクセイ 徳成	中国	岡山大学	ヘルスシステム統合科学	岡 山	平林 茂
コ 胡 キンゼン 欣冉	中国	岡山大学	生体制御科学	岡 山 東	渡辺 学
スチ アスティアニ ラハユ	インドネシア	吉備国際大学	外国学	岡山後楽園	松井 浩明
コウ 高 リョウショウ 凌霄	中国	岡山大学	産業創成工学	岡 山 旭 川	橋本 勝
レ ティ タン ウエン	ベトナム	環太平洋大学	現代経営学	岡 山 中 央	江原 芳男
チョウン ヒエン ヴーン	ベトナム	岡山理科大学	化学	岡 山 北	渡辺 玲
ヴォ ホジエウ ヴィ	ベトナム	環太平洋大学	現代経営学	岡 山 南	重田 直子
オウ 王 カクキョウ 鶴橋	中国	岡山大学	社会文化学	岡 山 備 南	岡本 真樹
ホウ 包 カライ 花蕾	中国	岡山大学	ヘルスシステム統合科学	岡 山 城	柳 智弘
ハシブ ファルハナ	バングラデシュ	岡山大学	保健学	岡 山 岡 南	入江 祥子
リュウ 劉 カシン 可欣	中国	岡山大学	環境生命自然科学	岡山丸の内	儀間 剛
リュウ 劉 テンヨウ 天陽	中国	岡山大学	社会文化学	岡 山 西	高木 達也
マムン エムディ シャヒン アル	バングラデシュ	岡山理科大学	機械システム工学	岡 山 西 南	松下 典裕

【継続奨学生】(7名)

アム シヤー	インドネシア	吉備国際大学	経営社会学	高 梁	山口 史朗
セネウィラトナ ムディヤンセラーゲー チャamani ジネーシャー ジャヤワルダナ	スリランカ	倉敷芸術科学大学	危機管理学	倉 敷	浅田 英久
シャ 謝 シンイ 芯怡	中国	岡山大学	社会文化学	岡 山	佐々木講治
オウ 王 ショウショウ 俊祥	中国	岡山大学	産業創成工学	岡 山 東	富山 直司
ハシブ ファルザナ	バングラデシュ	岡山大学	保健学	岡 山 北 西	小松 忠男
チョウ 張 コウバン 耕媛	中国	岡山理科大学	バイオ・応用化学	岡 山 中 央	中田 昌子
グエン ドック タン	ベトナム	岡山大学	グローバルディスカバリー プログラム	岡 山 西	渡辺 豊

ガバナーノミニー・デジグネートのご紹介



金 谷 晋 爾

Kanatani Shinji

第6グループ 玉島ロータリークラブ

生年月日 昭和31年3月28日生

職業分類 仏具販売

【経 歴】

1978年 日本大学 経済学部 経済学科 卒業
1982年 株式会社 光 (旧サカ工物産(株)) 設立
2007年 株式会社 光 代表取締役社長就任
2021年 株式会社 光 代表取締役会長就任

【公職・表彰】

1994年 社団法人玉島青年会議所 理事長
2005年 玉島商工会議所青年部 会長
2005年～2006年 玉島法人会青年部 会長
玉島商工会議所 議員
倉敷地区保護司会所属
宗教法人福壽院 檀頭 副会長

【ロータリー歴】

2008年4月 玉島ロータリークラブ入会
2011年7月 2011-12年度第46代クラブ幹事
2017年7月 2017-18年度第52代クラブ会長
2018年7月 2018-19年度2690地区職業奉仕委員会 委員
2019年7月 2019-20年度第6グループ ガバナー補佐

【ロータリーの表彰】

メジャードナーレベル1
ベネファクター
ポール・ハリス・ソサエティ会員
第2回米山功労者

ガバナーノミニーデジグネート 研修セミナー報告

ガバナーノミニー・デジグネート

金 谷 晋 爾

Kanatani Shinji

(玉島RC)



去る4月18日19日とクラブ活性化セミナー2024に参加させて頂きました。研修の二日目、午後より約2時間「ガバナーノミニーデジグネートセミナー」が開催され、当日のガバナーノミニーデジグネート参加者は21名欠席1名。未定地区12地区。

まず、出席ガバナーノミニーデジグネートの皆さんの自己紹介があり、地区、所属クラブ名、ロータリー歴、等々の説明がありましたが、驚いたのは、ロータリー歴5年目の方がいらっしゃいました。

また、クラブメンバー数も22名～120名と幅広い構成でした。我玉島RCは27名というメンバー数ですが、RID2690地区・第6グループ250数名のご協力の元に組織作りをしっかりとしなければと強く感じました。そして、水野功 国際ロータリー理事エレクト（東京飛火野RC）より今回初めての試みであるガバナーノミニーデジグネート研修の意義についてお話しがあり、続いて井原寛（元ロータリー公共イメージコーディネーター・さいたま新都心RC）PDGよりガバナー会の細々とした規約等々のお話がありました。

ガバナーの役割と責務を十分理解して取り組んで欲しい。ガバナーは、RIの役員であり地区の利益誘導の代表ではない。地区の各クラブを啓発して意欲を高めるように指導するのが、ガバナーの責務である。

日本のロータリーの最盛期には13万人の会員を擁し3ゾーンを日本だけで構成しRI理事も2名排出をしていた。現状は84000人のメンバーであり、危機を感じているし、日本の地区でも2地区が消滅の危機に瀕している。2026年7月1日時点で、1100名を切る地区は、何処かの地区と合併する事が決められています。この危機を脱するためにも新しいクラブを作りメンバーを増やすことを、ガバナーノミニーデジグネートの時から考えておかないと間に合わないの、よくよく考えて欲しいとの要望を強調されました。この現状をどのように打開していくかのお話がありました。それには、ガバナーとガバナー補佐の役割が大きくなる。各クラブの会長達を鼓舞させて頂くのはガバナー補佐の皆さんが会長と同じ目線で相談しながらやることが良いので、ガバナーの皆さんはガバナー補佐との連携を強めて頂きたい。

3年計画で1地区100名純増、新クラブを4クラブ増

強。その為の施策を3年計画で取り組み、検証してもらいたいRIでは、女性と若い人を増やすことも重要だと言っている。その後、ロータリー財団・ロータリー文庫等々の話もされました。ガバナーとして、しっかり自分の意思を持ち、やる気を持って地区を引っ張って行きたい決意を出席したガバナーノミニーデジグネートの皆さん方が表明して会を閉じました。

また、別紙資料では、広島西ロータリークラブの諏訪昭登PDGのロータリーの歴史年表を頂き、ポールハリスの生い立ちからロータリー誕生秘話等々が事細かく掲載されていました。ロータリーの歴史を知る事はロータリーを理解するための近道であるように思います。

貴重なセミナーに参加させて頂き感謝いたします。



第2回地区インターアクト委員会・ インターアクト地区協議会開催報告

地区インターアクト委員長

野島 和 朋

Nojima Kazutomo

(松江南RC)



2024年4月27日、新見公立大学で岡山県共生高等学校インターアクトクラブ、新見ロータリークラブがホストとなり、第2回地区インターアクト委員会とインターアクト地区協議会が開催されました。

11:00からの地区委員会は、まず幡宏明地区代表幹事が石倉貞昭地区ガバナーの「開会のことば」を代読されました。「青少年の段階でロータリーが実践している『奉仕活動をするることによって倫理観を向上させ、高潔に生きる』という精神を培って将来へ役立ててもらい、リーダーシップ能力を伸ばせるようお願いしたい」というお話でした。議事では、インターアクト地区大会と各県インターアクト指導者講習会の決算報告、インターアクト地区協議会の提案があり、いずれも承認されました。また、引き継ぎ・申し合わせ事項の改訂について議論され、一部について改訂することとされました。最後に「閉会のことば」を地区インターアクト副委員長の有元稔氏よりいただきました。



地区協議会は、インターアクトの顧問教師とロータリアンの合同の会議です。今回は、全体会の後、顧問教師、ロータリアンそれぞれに分かれて分科会を行い、再び集まって全体会を開催し、分科会の結果報告をする、という構成が取られました。

13:00からの全体会では、挨拶と参加者の自己紹介の後、主として第47回インターアクト地区大会について、岡山県共生高等学校の尾山誉先生から説明していただきました。大会テーマは「平和のカタチー誰一人取り残さない世界へ」とのことで、2024年7月27日・28日に国立吉備青少年自然の家で行われる予定です。

14:00からの分科会では、教師とロータリアンに分かれて、協議、報告等が行われました。コロナの影響で思うようにできていなかった各クラブの活動も、5類への移行後、また復活して、活発に活動が行われています。

15:00から再び全体会で、それぞれの分科会の報告が行われ、最後に、岡山理科大附属中・高等学校インターアクトクラブ終結について顧問教師と提唱ロータリークラブから経緯説明があり、地区協議会は終了しました。

懇親会も同じ新見公立大学での開催で、千屋牛のローストビーフや鯖寿司、キャビアなど新見の特産品が盛り込まれたお弁当をいただきました。途中には新見のゆるキャラ「にーみん」のエコバッグとぬいぐるみの抽選会が行われ、新見ロータリークラブの柴田政伸氏の軽妙洒脱な司会で、大いに盛り上がりしました。

大学の中でこのような会議が行われるのは、あまり例がないことですが、ホストの共生高校インターアクトクラブ、新見ロータリークラブのご尽力により、滞りなく進行し、盛会のうちに終了することができました。

第8・第9グループIM開催報告

第9グループIM実行委員長

藤井 一也

Fujii Kazuya

(岡山東RC)



令和6年3月17日（日）、岡山プラザホテルにて第8グループ松永 章ガバナー補佐、第9グループ諸國眞太郎ガバナー補佐の主催によるIMを開催いたしました。テーマは、「やすらぎと思いやり」を掲げ、ウクライナ戦争、新型コロナウイルス感染症等により経済活動が沈滞し、人々の生活や心、ロータリー活動にも影響が出ておりましたが、IMで学ぶことにより、新しく明るい希望に満ちたロータリー活動の糧になることを目的として掲げました。

来賓に佐藤芳郎2022-24年度国際ロータリー理事らをお招きして、第8・第9グループから554名の登録、当日310余名の参加を頂き、盛大に開催することが出来ました。

松永 章第8グループガバナー補佐の開会宣言で開会し、一連のセレモニーの後に、基調講演として演題『DEI推進：インクルーシブなクラブ作り』を国際ロータリー第2660地区直前ガバナー宮里唯子様（茨木西RC）にお願いしました。

続いて特別講演として演題「企業・組織におけるメンタルヘルスはなぜ大事か。そのために何ができるのか。」

を一般財団法人淳風会 代表理事 理事長川上憲人様をお願いしました。

閉会式では、石倉貞昭地区ガバナーよりIMの所感をいただきました。

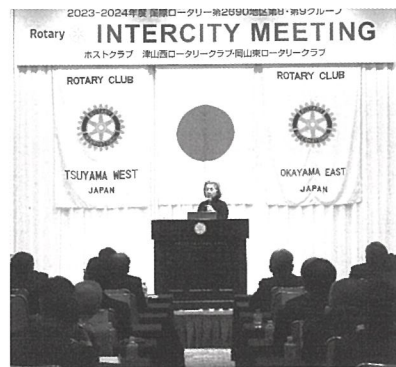
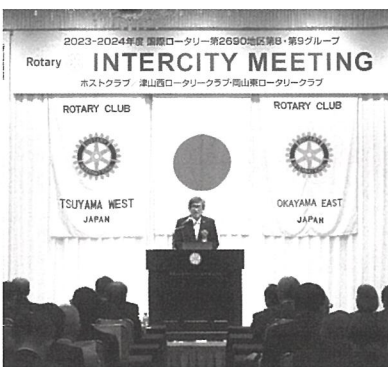
最後に第8・第9グループ次期ガバナー補佐の紹介があり、諸國眞太郎第9グループガバナー補佐の閉会宣言で幕を閉じました。

その後、懇親会が開宴となりましたが、まず参加者による握手で始まりました。たった2分位の時間ですが、同じテーブルの人達が各人の手のぬくもりを感じ、テーブル内が和やかになったように感じました。この試みは津山西ロータリークラブが毎例会行っていることを引用させていただきました。

また、おもてなしとして、ホストクラブの会員が料理、飲み物を各テーブルまでお持ちするというのをさせていただきました。

各テーブル担当の会員にはご無理な負担をおかけしましたが、終了後には皆さまに料理をお配りすることによって会話が生まれ、親しく話をさせていただいたことで、若い会員にも貴重なIMの体験となったようです。その結果、クラブ・グループを超えての親睦を深めることが出来、「手に手つないで」の大合唱で閉宴となりました。

最後になりましたが、ご参加いただきました会員の皆さまには多大なるご協力をいただきましたことに改めて感謝申し上げます、IMの報告とさせていただきます。



第6グループIM開催報告

第6グループIM実行委員長

池田 周二

Ikeda Shuji

(笠岡東RC)



春にしては強めの雨が降りしきる3月24日、笠岡東ロータリークラブがホストとして本年度の「インターシティミーティング」が開催されました。

ご来賓に石倉貞昭ガバナー、金谷晋爾ガバナーノミニーデジグネート、幡宏明地区代表幹事をお迎えし、午後1時 第2690地区第6グループの8クラブから総勢189名の参加者が集い学びと親睦のIMがスタートしました。

「ロータリーの原点を学ぼう」をIMテーマとし、本会議は基調講演と記念講演の2部構成で行いました。

基調講演には遠く山形から第2800地区パストガバナー藤川亨胤様をお招きしました。

藤川亨胤様は多年に亘り地区大会においてRI会長代理を務められ2006年度には当地区にもお越しいただきお話をお聞きしたご縁がありました。

講演内容は今回のIMテーマ「ロータリーの原点を学ぼう」をより深く掘り下げた内容で人間の生き方や人生そのものを教えてくださいました。1時間30分の講演でしたが時間は瞬く間に過ぎ、参加者一同は大きな感銘と感動を受けさらに今後のロータリー活動の道標をお示しいただいたと思います。

記念講演は当クラブと長く交流のある「児童養護施設悲眼院」副院長高橋成豪様をお願い致しました。高橋成豪様は地元笠岡に所在する明王院副住職を務められる傍ら児童養護施設悲眼院の運営にも携われており、現在の子供達が置かれている状況を鋭く時にユーモアを交えて講演いただきました。施設に入所している子供達は我々が想像する以上に厳しい状況にあり、施設を退所してからの独立もままならないとのお話がありました。今回こ

のように直接お聞きする事が出来、ある意味では他人事と考えていた参加者が身近な事と感じていただけたなら大変意義のある講演だったと思います。

本会議終了後の懇親会では地元笠岡の海の幸、山の幸と近年話題となっております「笠岡ラーメン」を用意し、さらに講師の藤川亨胤様が酒処山形で出身と言う事で山形の銘酒と地元笠岡・浅口の銘酒を用意し呑み比べを楽しんでいただきました。

懇親会の合間にはIM記念ゴルフ大会の表彰式も行われ、偶然ゴルフ大会優勝者が次年度IM開催予定となっている新見ロータリークラブメンバーと言う事で優勝スピーチと次年度IMの案内を同時に行うなど大いに盛り上がりしました。

最後は参加者全員が輪になって、「手に手つないで」の大合唱で全ての行事が無事終了しました。

8クラブ全体のインターシティミーティングはここで終了ですが、今回は減多にお会いする機会のない藤川亨胤様を山形からお招きしている事もあり藤川亨胤様を囲んでの笠岡東ロータリークラブ単独の勉強会を引き続き行いました。

会場を別室に移し、まるで藤川亨胤様が先生で笠岡東ロータリークラブメンバーが生徒のように我々が疑問や問題点を質問し藤川先生がそれに答えて下さると言う光景でした。中でもロータリー活動の原点とも言える職業奉仕に関する質問が多くあり、藤川先生の職業奉仕への真摯なお考えをお聞きすることが出来ました。

夢のような、そして濃密で実り多き時間を過ごす事が出来、参加者全員がたくさんの感動を共有しました。

1年以上前から、講師の選定や交渉、会場設営、懇親会の食事など多岐に渡る構想や準備を経て意義あるIMが開催出来たと自負しております。

参加いただいた皆様や講師の方々、そして何より笠岡東ロータリークラブメンバーに支えられまして無事終了しましたことを感謝と共にご報告申し上げます。



第1・第2グループIM開催報告

第2グループIM実行委員長

清水 幸憲

Shimizu Yukinori

(米子南RC)



2024年4月20日（土）米子市文化ホールにて、国際ロータリー第2690地区第1・第2グループ合同IMを、伊藤パストガバナー、庄司パストガバナー、岩崎パストガバナーをはじめ多くの来賓の皆様並びに石倉ガバナー、地区役員の方々にご臨席頂き「希望の種を播きましょう。育てましょう。」をテーマに開催致しました。

基調講演は、パストガバナーの庄司尚史氏による「ロータリーあれこれ」です。主なコンテンツとしては、“My ROTARY”の進化、クラブ例会や会員雑誌のデジタル化、ロータリー全体のブランディング化など、近年に感じるロータリーの変化。それとは逆に、ロータリーのモットーや使命といった変わることのないロータリーの基本理念。そして1985年からはじめられた「ポリオの根絶」、クラブの新たな結成や活性化、ロータリー平和センターの拡充といった国際ロータリーの最重点事項などについて話されました。

「親睦なくして奉仕なし、そしてその前に、出席なくして親睦なし。是非とも皆さまに、例会や地区大会、奉仕活動などにご参加頂きたい」とロータリーを深く語って頂きました。

続いての記念講演は、「21世紀の戦争 ウクライナ戦地の日常」と題し、定住旅行家でモデルのERIKO氏にお話頂きました。

ERIKO氏は米子市出身で世界各地の人々の生活に入り込み、その国の暮らしや文化を伝えるという定住旅行家として、これまでに50カ国以上現地の暮らしを体験されています。今回は、ERIKO氏がウクライナの3カ所の地域に滞在して経験した、戦地での日常を語って頂きまし

た。戦場の前線から近い地域での様子、そこに暮らす人たちの暮らしや日常、生々しい戦争の傷跡や、国民が国や戦争に対して抱く思いなどを、スライドで現地の様子を写しながら分かりやすく伝えて下さいました。

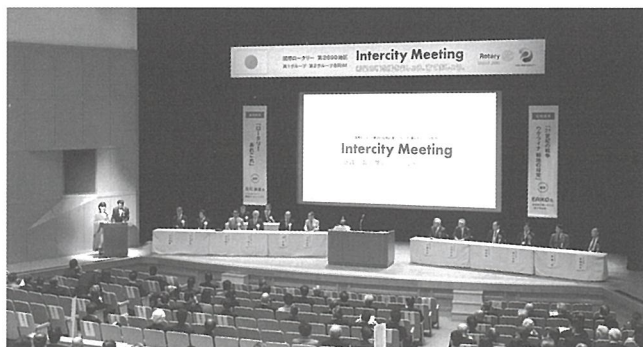
多くの国を訪れ、「実際に訪れないと分からないことが本当にたくさんある」と語るERIKO氏ですが、ウクライナの現状は特にイメージと違っていたといいます。日本での報道では決して知ることのできない、そうした生の声を伝え聞くことで、戦争の悲惨さや平和の大切さを、今一度考えさせられるお話でした。

講演後の石倉ガバナーによるガバナー所感では、地区パストガバナー庄司尚史氏を講師に迎えた基調講演を聴講し、題名は優しかったが中身は非常に濃い内容でした。自分たちのクラブで、これをやったらどうなるか、検証しながらやっていかないと、良い結果を生まないのではないかと思います。と所感をされました。

又ERIKO氏による記念講演を聴講し、21世紀の今の時代になって戦争が起こるなどと考えてもみなかった。ニュース等で悲惨な状況が報道されているが、ERIKO氏の講演によると実際の暮らしはそればかりではないということもあり、ほっとした部分もあったと講評されました。

ミーティング後の懇親会は、米子コンベンションセンター多目的ホールで行われ、レインボージャズオーケストラの演奏で華やかに開会となりました。来賓・役員による鏡開き、伊藤パストガバナーによる乾杯の挨拶。歓談後、岩崎パストガバナーによる中締め挨拶があり、「出席無くして、親睦無し。親睦無くして、奉仕無し」みなさんロータリーに出席して下さい。ロータリーは親睦です。と言われ、そして来年は鳥取で開催されることをPRされ、最後に一丁締めで締めくくられました。

皆様のご協力のもと、合同IMを無事に終えることが出来ました。ロータリアンの好意と友情によるものと感謝申し上げ、この度の合同IMのご報告と致します。





岡山岡南ロータリークラブ創立30周年 記念式典・祝宴報告

岡山岡南ロータリークラブ会長

磯 邊 崇

Isobe Takashi

(岡山岡南RC)



岡山岡南ロータリークラブは、岡山西南ロータリークラブ様をスポンサーとして、1994年3月22日に創立いたしました。同年4月12日に国際ロータリーから加盟を承認され、第2690地区で63番目のクラブとして誕生いたしました。

2024年3月23日、ホテルグランヴィア岡山において創立30周年記念式典、祝宴の開催をご案内したところ、国際ロータリー第2690地区ガバナー石倉貞昭様、地区第11グループガバナー補佐 猪木健二様、スポンサークラブの岡山西南ロータリークラブ会長 和田治郎様をはじめ、岡山県南15ロータリークラブ、姉妹クラブである台湾台中中興ロータリークラブ、日頃から奉仕活動を通じてお世話になっております地域の皆様など多数のご臨席を賜りました。

式典に先立ち、台中中興ロータリークラブとの姉妹縁組継続調印式を行い、今後も変わらぬ交流を確認しました。

当クラブが創立30周年を迎える今年度は、スポンサークラブの岡山西南ロータリークラブが創立55周年、姉妹クラブの台中中興ロータリークラブが創立35周年、同クラブのスポンサークラブである台中東南ロータリークラブが創立55周年を迎えます。このたび当クラブより共同の記念事業をご提案したところ、岡山市の児童心理治療施設に対して、岡山岡南、岡山西南、台中中興の3クラブ合同で地区補助金事業として、防球ネット一式を贈呈し、合わせて台中東南も加わった4クラブ合同の周年記念事業として、サッカー用具の贈呈とサッカー教室の開催、プロサッカー試合の観戦招待を行うことができました。記念式典では当該事業の目録を贈呈しました。

式典に引き続き開催した祝宴では、アトラクションとして当クラブ会員による二胡の演奏を披

露しました。また、ビッグバンドによる演奏もあり、大いに盛り上がりました。

今回の式典と祝宴の特長を2つ挙げれば、1つめは、はるばる台湾から台中中興ロータリークラブの会員及びご家族の方々が30名以上お越しくださったことです。式典前日には歓迎レセプションパーティーを行い、大いに親睦を深めることができました。2つめは、レセプションパーティーから調印式、記念式典、そして祝宴にいたるすべての会場進行において中国語の通訳を付けました。特に司会進行の通訳を、当クラブの米山学友と米山奨学生に務めていただきました。奨学生期間が終了した後も当たり前のように交流が続くことに、他クラブからも称賛の声をいただきました。

先輩方のご尽力と、地域の皆さまのご理解とご協力のおかげを持ちまして、当クラブは30年間で多くの奉仕活動に携わることができました。さらに、近隣15のロータリークラブや姉妹縁組をしていただいている台中中興ロータリークラブの皆さまとの交流を通じて、多くの気づきと学びの機会をいただいております。改めて深く感謝を申し上げます。

これから先も、岡山岡南ロータリークラブは35周年、40周年に向けて、会員一同が親睦と奉仕の心を高めてまいります。



岡山西南ロータリークラブ 創立55周年を迎えて

実行委員会委員長

伏 見 正

Fushimi Tadashi

(岡山西南RC)



岡山西南ロータリークラブは1969年（昭和44年）4月7日に、岡山ロータリークラブをスポンサークラブとして発足しました。以来、半世紀を超える年月を経て、2024年（令和6年）3月30日にホテルグランヴィア岡山にて、創立55周年記念式典及び祝宴を開催しました。

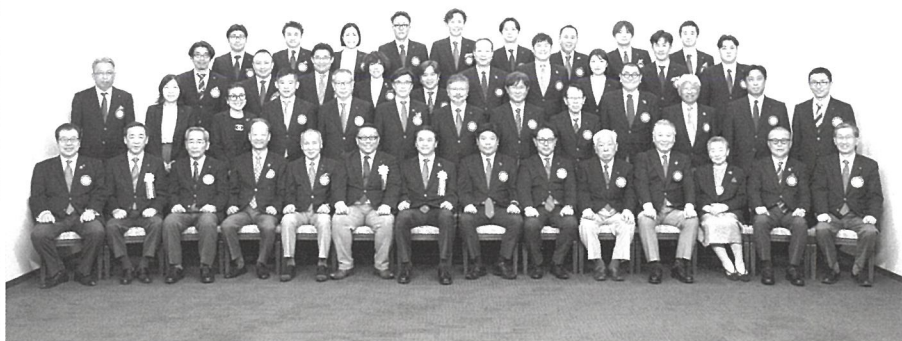
昨年5月に実行委員会を結成し、その中の正副実行委員長、式典委員長、祝宴委員長及び次年度会長・幹事の7名で構成する役員会で、式典・祝宴や記念事業についてどのようなコンセプトで取組むかを協議しました。そして、今回が10年単位の周年行事でないことから、10年前の創立45周年に倣って、簡素ながらもクラブの発展につながるような意義のある行事を行うことで意見がまとまりました。丁度そのころ、新型コロナウイルス感染症法の位置付けが2類から5類に移行しましたが、感染者数は増加傾向が続いたため、そうした状況も考慮してのことでした。

前年度末の6月30日に第1回実行委員会を開催し、その後6回の同委員会を経て記念式典前日を迎えました。その日の夕刻に台湾から姉妹クラブ・台中東南ロータリークラブの会員・パートナー25名が来岡され、恒例の歓迎晩餐会を開きました。そして翌朝、姉妹クラブの皆さん全員を岡山市中区湊の劉生容記念館へ案内しました。この記念館は、台湾台南出身で歯科医師の三船（劉）文彰氏が、父親である劉生容画伯の絵画を展示するため、自宅の南側に建てられた私設美術館です。そこで画伯の絵画と三船氏本人のチェロの演奏を鑑賞しながら、それぞれが和気あいあいの雰囲気には浸っていました。そして昼前には後樂園へ移動して園内を散策し、鶴鳴館で昼食

を取りながら和やかに歓談を楽しんでいただきました。当初は両クラブ合同の花見会を計画していましたが、直前の1週間が天候不順で桜の開花が遅れたため、残念ながら実現できませんでした。

その後はホテルに戻り、いよいよ16時からの記念式典本番に臨みました。式典は式次に従って終始順調に進み、最後の三船氏による記念講演で閉式となりました。三船氏にはこの後も、記念コンサートとしてチェロの演奏を披露していただきました。また、祝宴の後半には余興として「歌曲の夕べ」があり、財団学友でオペラ歌手の柁木和敬氏に迫力満点の歌声を聞かせていただきました。祝宴終了後は台中東南ロータリークラブの皆さんと共に、恒例の二次会（カラオケ）で再び盛り上がりました。因に当クラブと台中東南ロータリークラブは同じ年度の創立で1981年11月1日に姉妹クラブ締結調印を行って以来、毎年創立記念例会の日に互いに訪問しあって親交を深めてきました。昨年11月7日の台中東南ロータリークラブ創立55周年記念式典には、当クラブから会員・パートナー24名が列席しました。ここ数年はコロナ禍で疎遠になっていた両クラブですが、長年とはぐくんできた友情にはいささかの陰りもありませんでした。

この度の記念式典・祝宴やその他の行事について、実行委員会の各委員長に今後のためのアンケートを実施しました。それぞれの行事で良かった点、良くなかった点、今後への申し送り事項、その他について、準備段階から含めて記入していただき、まとめたものを創立60周年実行委員会への置土産として作成しました。参考冊子として活用していただければ幸いです。



岡山後楽園ロータリークラブ創立35周年 記念式典・祝賀会報告

岡山後楽園ロータリークラブ会長

松井 浩明

Matsui Hiroaki

(岡山後楽園RC)



令和6年3月31日、岡山後楽園ロータリークラブは創立35周年記念式典および祝賀会を終えることができました。

佐藤芳郎RI理事、石倉貞昭第2690地区ガバナー、スポンサークラブの岡山南ロータリークラブ延原正浩会長をはじめ多くの来賓の皆さまのご臨席を賜り、ともに祝っていただきましたことを深く感謝申し上げます。

わがクラブは1989年（平成元年）1月26日、チャーターメンバー47名で発足し、現在、会員50名、名誉会員1名であります。当時の会長、幹事と会員各位の活動が礎となり、創立35周年を迎えられたことに深甚の敬意と感謝をいたします。

また友好クラブである台北東南扶輪社、ソウル盤浦ロータリークラブ、丸亀東ロータリークラブを招いた前夜祭は、美しい夜桜が見える岡山城で開催し、アークホテル岡山のお花見弁当で大変有意義な会食となりましたことにも重ねて感謝を申し上げます。

今年度はゴードン・R・マッキナリーRI会長のテーマ「継続と変化（世界に希望を生み出そう）」、石倉貞昭地区ガバナーのスローガン（希望の種をまきましょう、育てましょう）とともに奉仕活動してまいり、会員同士の絆を大切に社会奉仕活動を実践し、地域交流を深め、地域への貢献を行ってまいりました。私たちが重点目標にしているのは、多岐にわたる人道的社会奉仕活動と、友好クラブとの交流と絆を大切にしていくことです。そして、若い会員の育成と成長と活躍です。このたびの創立35周年のスローガンの「多様性と寛容で広げる奉仕の輪」には、さまざまな立場や異なる考え方を持つ会員同士が、お互いを理解、尊重して活躍することで、広い視野ときめ細やかな心で奉仕活動を行うことこそロータリーの奉仕の精神と考え、更なるクラブの成長に繋げていくという思いを込めており、以下の事業を行いました。

1. 記念事業：

①ひらた旭川荘への「ひらたの杜」くつろぎセット（テーブルおよび椅子）の寄贈：0歳児から80歳までの約270名のご利用児・者と地域の住民の方々の交流と憩いの場となります。

②岡山市唯一の有人島犬島を「住みつづけられる魅力ある島づくりに協力しよう」

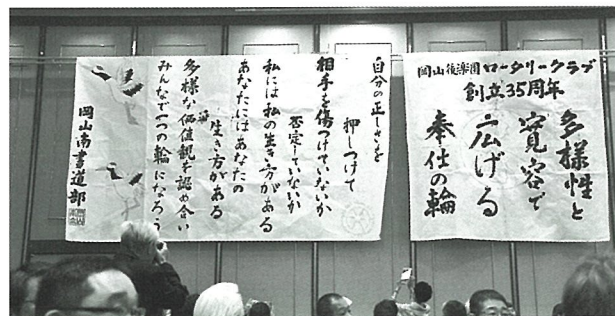
ベンチ台を寄贈する。高齢者、観光客の休憩場所となります。瀬戸内芸術祭の開催される芸術の島の良さを残していきます。

2. 地区補助金事業：入学お祝いオリジナル絵本100冊の作成。小学校入学する児童に親からの暖かいメッセージを贈り、子供の自己肯定感を高めるとともに、ひとり親家庭の孤立を防ぐことを目的としています。岡山後楽園駄菓子屋さんを実施し、買い物体験を行い、ひとり親家庭の親に参加してもらいました。

またわがクラブは世界への平和の取り組みという責務のもと、2007年からカンボジアアンコール小児病院、更に2017年からラオス小児病院への支援活動を継続して、台北東南扶輪社（1991年1月～）、グアム・タモンベイロータリークラブ（2003年5月～）、ソウル盤浦ロータリークラブ（2006年9月～）、丸亀東ロータリークラブ（2004年11月～）との国内外4つの友好クラブとの深く広い友好関係の継続を大切にしています。

今後はコロナ時代の体験を反省材料として、フレイル予防、健康寿命延伸を重視し、時代に適応した奉仕事業を増やしていき、40年、50年に向けて信頼する仲間とともに精進してまいります。

皆さまのますますのご指導、ご支援、ならびにご協力をお願い申し上げ、重ねて幸いにも創立35周年を迎えられたことに心より感謝を申し上げます。



倉吉中央ロータリークラブ創立30周年を迎えて

30周年記念事業実行委員長

福井 利明

Fukui Toshiaki

(倉吉中央RC)



「科学する心」、この言葉は倉吉市が生んだ生理学者であり、太平洋戦争開戦前年の1940年から33ヶ月間、文部大臣を務めた橋田邦彦の提唱した言葉です。倉吉中央ロータリークラブは、創立時よりこの言葉を活動の柱に据えて30年間の歩みを重ねてきました。

1994年4月6日、倉吉東ロータリークラブをスポンサークラブとして、故渡辺好政元国際ロータリー理事、故熊野光紀特別代表をはじめ、多くの方々のお力添えにより、国際ロータリー第2690地区の64番目のクラブとして誕生しました。

以来30年、「奉仕の理想」を掲げ、地域の中で、また、国際的なネットワークの中で活動を展開してきました。特に活動の柱である「科学する心」は、青少年奉仕活動の一環として、鳥取県中部地区の中学生を対象として、鳥取大学や岡山大学の協力を頂いて、「科学するこころ教室」を毎年開催し、中学生に科学への興味や関心を持ってもらうための事業を進めてきました。

創立30周年を迎えるにあたり、当クラブ創立の原点に立ち返り、改めて「科学する心」を提唱した、橋田邦彦を顕彰するため、記念講演には橋田邦彦研究の第一人者である、公立鳥取環境大学 特任教授 岩田直樹先生に「橋田邦彦の『科学する心』をめぐって」と題して講演を頂くことになりました。

1. 「科学する心」とは何か

2. 橋田邦彦の生涯を振り返る

3. 橋田邦彦の誤解を解く

4. 「科学する心」をどう生かしていくか

倉吉中央RCがこの後、「科学する心」を活動の中でどう生かしていくか、大きなヒントを得ました。

私たちのクラブは、創立時よりもう一つのテーマを掲げてきました。それは、国宝投入堂を有する三徳山の世界遺産登録支援です。このために、有識者による三徳山の歴史や自然に関する講演会を開催したり、地元の中学生と共に学んだり、諸事業に参加したりとあらゆるチャンネルを駆使して活動を展開しています。私たち自身も毎年複数回、現地に足を運び、三徳山の歴史や文化を学び、自然に触れ、世界遺産登録のための支援を続けています。

今回創立30周年を記念して、三徳山三佛寺に掲揚塔を贈呈いたしました。この掲揚塔は、国旗をはじめ、三徳山の諸例祭時には例祭旗が掲揚されることになっています。この掲揚塔に掲げられた旗が、三徳山の神聖で新鮮な風にはためく様を仰ぎ見る度に、私たちは世界遺産登録への願いを更に熱くします。

創立時に29名でスタートした私たちのクラブもチャーターメンバーは3名（名誉会員2名）となりました。ここまでの歴史を作って下さった先輩ロータリアンの方々に感謝をし、次の歴史を刻む歩みを進めていきたいと願っています。



出雲ロータリークラブ創立70周年 記念式典報告

出雲ロータリークラブ会長

森山 宗浦

Moriyama Soho

(出雲RC)



出雲ロータリークラブは今年度創立70周年を迎えました。

4月14日に記念式典、記念祝賀会を無事終えることが出来ました。一重に石倉ガバナーを始めスポンサークラブであります松江ロータリークラブ、近隣ロータリークラブの皆様、たくさんの皆様にお越しくださしまして大盛会となりました事厚く御礼申し上げます。また、姉妹クラブである台湾高雄東ロータリークラブからは、台湾国内で大地震があり大変な状況下の中20名を超える方にご参加頂きました。ロータリーの友情に感謝致します。記念事業では出雲市内幼稚園、保育所等約100箇所に子供達の読書活動への支援と読み聞かせの会を出雲西高等学校インターアクトクラブと島根県立大学出雲キャンパスローターアクトクラブと共に行いました。

当クラブは第2690地区第4グループの中では1番古く若輩者の私がこのような記念すべき年の会長を務められましたのも、この出雲ロータリークラブの大先輩から若い会員皆が一丸となりお支え下さった事と感謝しております。

本年度私はクラブテーマを「稽古照今」と掲げ、奮起して参りました。創立70周年の記念講演では、建仁

寺管長にお越し頂き、この「稽古照今」と題して講話くださいました。そして、たくさんのことを学ばせて頂きました。私一人の力など本当に些細なものでありますが、このテーマに会員全員が導いて下さったのです。

流石出雲ロータリークラブと我がクラブの事ながら誇らしく、またクラブの一員であることを光栄に思います。

出雲ロータリークラブはこれから80周年、90周年、100周年の未来へといつまでも地域、社会へ貢献出来ますよう1歩1歩進んで参りたいと思います。どうぞこれまでと変わりませず、御指導ご鞭撻よろしくお願い致します。ありがとうございました。



2023-24年度ロータリー財団 地区補助金奨学生 報告（第2回）

ロータリー財団地区補助金奨学生

中 田 茉 衣



第2報目の留学報告書にて私の留学の近況を報告いたします。

私は、2023年夏よりイギリスのロンドンに位置する SOAS University of London（ロンドン大学東洋アフリカ研究学院）に正規留学をしています。2023-24年度の国際ロータリー第2690地区の地区補助金奨学生として、ロンドンのThe Rotary Club of Battersea Parkと島根県浜田市の浜田ロータリークラブの2つのホストクラブに所属しながら、1年間の国際開発学の修士コースで学んでいます。年明けから第2学期が始まり、現在は国際政治経済学、労働と開発、国際開発の場面で用いる統計学といった、数値的データを扱う経済的な側面から国際開発を学習しています。

昨年は、ロータリー奨学生として、ロータリアンとの交流活動に積極的に参加したいと意気込み留学生生活を開始したものの、大学院の授業が始まって以降はスケジュールの過密さと真新しい生活で心身に余裕が無くなり、定期的にクラブメンバーに会いに行くことができずにいました。しかし、年明け以降は少し余裕が生まれたため、所属クラブの定期集会にて、改めてクラブ会員の皆様にご挨拶を兼ねてスピーチをする機会をいただきました。イギリスのパブで開かれた集会では、私の個人的な紹介から、島根県浜田市での学生生活の思い出、大学院での学習内容に至るまで幅広くお話ししました。その後、パブで食事をいただきながら、メンバーとロンドンの名所などについて話に花を咲かせることができ、楽しいひと時を過ごしました。

2月には、ロータリー主催の国際会議であるRotary International Presidential Peace Conference（国際ロータリー会長主催平和会議）にお誘いいただきまし

た。会議には世界各国から数百人のロータリアンが集い、参加者は平和を主張するスピーチを聴き、共に歌い、飲食を楽しみました。私は他地域のロータリークラブ所属のロータリアンとも知り合うことができましたが、知り合った方々は、私が奨学生としてロンドンで勉学に励んでいることを歓迎してくださいました。所属クラブの皆さんに頻繁に行事やお食事に誘っていただいており、勉学以外の生活も楽しく充実しています。

また、ロンドンに来てから半年が過ぎましたが、前学期と比較し、勉学や心身に多少ながら余裕ができました。イギリスの授業方針や、課題・成績評価スタイルも長年慣れ親しんだ日本のものとは異なっており、そのことが依然として壁として立ちちはだかってはいますが、毎日の積み重ねにより着実に効率良く、効果的にこなせるようになったと感じます。勉学で行き詰まった際には、クラスメイトと教え合ったり、講師のもとを訪れたりしながら自分なりに乗り越える方法を模索しています。

春以降は期末テストの時期に入りますが、同時に私にとって卒業後の進路を再考する重要な時期でもあります。本学に進学し開発分野の学問的知見を深める中で、ロータリーが掲げる重点目標に密接に関連する国際開発という分野は、基本的に人材の供給が求人枠を超過していることや、無給の案件の多さ等の就職先の待遇の課題があり、働き口を見つける困難があると認識しました。自分に向き合い、自分が何を成し得るのかを現実的に捉え、学びを活かせる進路を考えていきたいです。

5月頃に、3度目の留学報告をさせていただく予定です。今後ともよろしくお願いいたします。



House of Parliament（国会議事堂）。



平和会議の様子。100～200人程の参加者が集っていました。



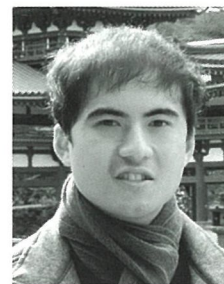
会議に共に参加したクラブメンバー。行事にお誘いいただいたり、困った時に助言をくださったたりしています。（時間の関係で一緒に写真を撮ることは叶いませんでした。）



平和会議の様子。ロータリー平和センターは日本の東京にも所在しているとのことです。

2023-24年度ロータリー財団 地区補助金奨学生 報告（第2回）

ロータリー財団地区補助金奨学生
プラダンシュレヤス



1. 学業面での成果

前期の履修科目の単位をすべて取得することができ、現在の成績平均値は61.55%です。これにより、評価グレードは「Merit」に該当します。

2. 受入地区でのロータリーとの関わり、奉仕活動、カウンセラーとの交流

昨年11月20日には受入地区で行われた恒例の宴会に参加し、今年1月17日にはサンドバッチロータリークラブの例会に出席させていただきました。両イベントで、出身地や日本の大学院での研究内容、留学先での学修内容などについて発表しました。また、2月上旬には受入地区のホストクラブの副会長様及び財団委員長様とお食事を取る機会がありました。

3. 直面した課題、問題点等

前期の履修科目のレポート課題に対するフィードバックを受け、読者に論理的で分かりやすく、構成が良いと評価されましたが、批判的思考が不足しているとの指摘もありました。この点が、予想よりやや低めの成績をいただいた理由であると考え、後期にはレポートの

結論に十分な時間を割り、余裕を持って課題に取り掛かることに心掛けます。

4. 今後の課題、目標

後期では、各科目の成績を高めることが最大の目標です。先述したように、前期に提出したレポート課題において、批判的思考が欠けていたため、この点を改善することに取り組みます。また、修士論文の執筆に向け、研究計画書を2月下旬に提出することになっています。日本の大学院に比べて極めて短い期間で研究を行わなければならないため、数か月間の活動でも、最終的に質の高い論文に至るよう計画書の作成に励みます。



【VOL.12 表紙】 葛飾北斎 しょうごくたきめく 《諸国瀧廻り 下野黒髪山きりふりの滝》 しちつけくろがみやま たき
天保四年（1833）頃、錦絵（多色摺木版画）、島根県立美術館蔵

「諸国瀧廻り」は全国の「滝」を題材とした全8図から成る揃物（シリーズ）です。北斎はこのシリーズで、滝の高さや形状、水量によって千変万化する水の表情を巧みに描き分けました。本作品は日光三名瀑の一つ「霧降りの滝」を描いたもの。水の筋がまるで生き物のようにくねくねと岩間を流れ、この水の筋が画面の大半を覆う大胆な構図と相まって、滝は異様な存在感を放っています。北斎の独創的な表現力が存分に発揮された作品といえるでしょう。



クラブからのお知らせ

隠岐西郷ロータリークラブ事務局及び、例会場が下記のとおりとなります。

新住所 〒685-0016 島根県隠岐郡隠岐の島町城北町1番地
隠岐の島町商工業振興センター
（公社）隠岐法人会内

電話番号・FAX番号に変更はありません。

新例会場 〒685-0016 島根県隠岐郡隠岐の島町城北町1番地
隠岐の島町商工業振興センター2階会議室

2024年 4 月 地区だより

新会員紹介

森田 純一
倉吉東RC圓井 貴志
鳥取北RC谷口 幸隆
鳥取西RC持田 伸吾
松江東RC戸崎 真一
松江東RC原田 容仁
松江南RC小山 陽子
松江南RC福田智恵子
平田RC宮本 英一
益田西RC吉田 文雄
高梁RC岡崎 伸二
倉敷RC桐生 和幸
津山RC中川 洋平
津山中央RC堀田 徹
岡山RC金山 勉
岡山RC川上 憲人
岡山RC角 稔文
岡山東RC滝沢 敬士
岡山北RC江草 明彦
岡山南RC兼山 准一
岡山南RC田辺 義之
岡山南RC古川 強志
岡山西RC河川 愛幸
岡山西RC大島 丈生
岡山西RC上村 誠之
岡山西RC

訃報

謹んで哀悼の意を表し、
ご冥福をお祈りします。

吉田 藤生

(津山西RC)

ご逝去日/2024年4月1日

享年/95

入会日/1979年7月1日



ロータリー財団への寄付

- アーチ・クラフ・ソサエティ（管理委員会サークル）入会
末長 範彦（岡山RC）

- 恒久基金 大口寄付

- 末長 範彦（岡山RC）

- ベネファクター（恒久基金）

- 長鋪 方隆（笠岡東RC）

- メモリアル・コントリビューター

- 小西 伸明（松江南RC）父 小山章文のために

- ポール・ハリス・フェロー（ポリオプラスへの寄付）

- 江原 公平③（笠岡東RC） 福嶋 啓祐⑥（笠岡東RC）

- 金政 一孝①（笠岡東RC） 長鋪 方隆③（笠岡東RC）

- 山本 茂雅①（笠岡東RC） 黒住 陽一④（岡山東RC）

- ポール・ハリス・フェロー（年次基金への寄付）

- 福田 収①（鳥取北RC） 入江 容子①（鳥取北RC）

- 木山 剛⑤（米子RC） 小林 幹久③（松江しんじ湖RC）

- 久保田一朗①（松江しんじ湖RC） 成澤多美子②（松江しんじ湖RC）

- 荒木 克之①（平田RC） 清原 正幸②（平田RC）

- 松浦 剛司①（平田RC） 須山 隆①（浜田RC）

- 池田 孝③（笠岡東RC） 河田 恭志①（笠岡東RC）

- 棕梨 孝章②（笠岡東RC） 小川 隆則③（笠岡東RC）

- 岡辺 賢二⑤（笠岡東RC） 鈴木 香⑧（新見RC）

- 川崎 正志⑥（高梁RC） 西川 浩二①（高梁RC）

- 八代 義弘③（高梁RC） 桐野 宏司②（倉敷南RC）

- 末藤 達也①（岡山東RC） 槌田 正則⑬（玉野RC）

- 本郷 亮⑥（岡山備南RC） 高旗 博文①（岡山備南RC）

- 上原 和成③（岡山備南RC） 秋本 暁久③（岡山丸の内RC）

- 半田 雄三③（岡山丸の内RC） 宗政 省作②（岡山丸の内RC）

- 岡本 卓治③（岡山丸の内RC） 大月 始①（岡山丸の内RC）

- 清水 芳可①（岡山丸の内RC）

クラブポリオプラス

鳥取北RC — 569.54ドル 浜田RC — 86.09ドル 益田西RC — 930.00ドル

総社RC — 61.19ドル 高梁RC — 721.90ドル 児島RC — 450.00ドル

児島東RC — 266.61ドル

岡山南RC — 405.96ドル（3月17日岡山南RCCフリーマーケット出店ポリオ根絶募金箱）

岡山南RC — 1006.26ドル（4月30日ベッキオ・バンビーノ ポリオ根絶募金活動（岡山南RCC参加））

クラブ年次基金

鳥取北RC — 492.98ドル（財団BOX） 米子中央RC — 100.00ドル

大田RC — 109.27ドル（ミリオンダラーミール）

笠岡東RC — 143.05ドル（ミリオンダラーミール）

総社RC — 234.57ドル（ミリオンダラーミール）

高梁RC — 1100.00ドル

岡山東RC — 611.92ドル（ミリオンダラーミール）

岡山備南RC — 668.87ドル（財団BOX）

岡山丸の内RC — 569.54ドル（ミリオンダラーミール）

法人寄付・年次基金

松江RC — 出雲空港ターミナルビル(株)、(株)中電工 島根統括支社、
日本生命保険(相)松江支社

法人寄付・ポリオプラス

松江RC — 医療法人勝部医院、日本生命保険(相)松江支社

松江南RC — あいおいニッセイ同和損害保険(株)島根支店、(株)松江エクセルホテル東急、西日本電信電話(株)島根支店、明治安田生命保険(相)松江支社、三井住友海上火災保険(株)山陰支店、(株)JTB 山陰支店、(株)テクノプロジェクト、鹿島建設(株)中国支店山陰営業所、第一生命保険(株)島根支社、JR西日本山陰開発(株)、損害保険ジャパン(株)山陰支店、山陰中央テレビジョン放送(株)

米山奨学会への寄付

- 米山功労者

- 松本 啓介①（鳥取北RC） 牧浦 繁雄⑥（鳥取北RC）

- 道上 正規⑤（鳥取北RC） 米田由起枝①（鳥取北RC）

- 小林 祥泰①（松江RC） 石倉 貞昭③（松江しんじ湖RC）

- 川井 眞治②（井原RC） 黒木 立志④（井原RC）

- 前原 幸夫①（井原RC） 博行⑦（井原RC）

- 勇木 健⑤（井原RC） 三宅 八郎⑤（児島東RC）

クラブ普通寄付

米子RC — 172,500円 米子中央RC — 80,000円 益田西RC — 155,000円

クラブ特別寄付

米子中央RC — 10,000円（米山BOX） 笠岡RC — 50,688円（米山ランチ）

笠岡東RC — 43,800円（米山ランチ） 児島RC — 150,000円

法人特別寄付

松江RC — 日本生命保険(相)松江支社

会員数報告 (2024年 4月)

クラブ名		例会数	会 員 数			
			7月1日	4月末日	内女性会員	増 減
第1グループ	智 頭	4	5	6	0	1
	倉 吉	4	38	41	2	3
	倉吉中央	4	17	18	2	1
	倉吉東	4	46	47	5	1
	鳥 取	3	58	54	3	▲ 4
	鳥取中央	2	27	34	1	7
	鳥取北	4	45	45	7	0
	鳥取西	3	55	55	3	0
	小計(8)	—	291	300	23	9
第2グループ	境 港	3	43	45	1	2
	米 子	3	68	67	4	▲ 1
	米子中央	2	41	40	2	▲ 1
	米子東	3	102	108	15	6
	米子南	3	68	70	5	2
	小計(5)	—	322	330	27	8
第3グループ	松 江	3	60	61	1	1
	衛星クラブ	2	9	9	5	0
	松江東	3	49	49	4	0
	松江南	4	65	64	6	▲ 1
	松江しんじ湖	3	45	45	10	0
	隠岐西郷	5	26	26	2	0
	小計(5)	—	254	254	28	0
第4グループ	平 田	4	37	38	2	1
	出 雲	4	51	55	1	4
	出雲中央	3	47	47	3	0
	出雲南	4	84	83	7	▲ 1
	大 社	3	48	50	5	2
	小計(5)	—	267	273	18	6
第5グループ	江 津	4	40	42	3	2
	浜 田	4	56	55	5	▲ 1
	益 田	4	19	19	2	0
	益田西	4	31	31	2	0
	大 田	4	24	24	3	0
	小計(5)	—	170	171	15	1
第6グループ	井 原	4	37	38	1	1
	笠 岡	4	49	48	3	▲ 1
	笠岡東	4	39	40	1	1
	新 見	4	24	23	3	▲ 1
	総 社	4	14	16	2	2
	総社吉備路	3	29	31	1	2
	高 梁	4	34	36	1	2
	玉 島	4	27	28	5	1
	小計(8)	—	253	260	17	7

クラブ名		例会数	会 員 数			
			7月1日	4月末日	内女性会員	増 減
第7グループ	児 島	2	15	16	0	1
	児島東	3	10	11	0	1
	倉 敷	3	74	76	1	2
	倉敷中央	4	16	18	7	2
	倉敷東	4	29	27	4	▲ 2
	倉敷南	3	57	60	3	3
	倉敷水島	3	17	16	0	▲ 1
	倉敷瀬戸内	3	34	32	1	▲ 2
	小計(8)	—	252	256	16	4
第8グループ	真 庭	4	29	30	1	1
	美 作	3	26	27	2	1
	津 山	4	95	96	5	1
	津山中央	3	11	12	3	1
	津山西	3	32	32	4	0
	小計(5)	—	193	197	15	4
第9グループ	備 前	2	41	45	7	4
	岡 山	4	113	117	5	4
	岡山東	4	96	97	2	1
	岡山北西	4	47	48	3	1
	岡山後楽園	4	48	49	2	1
	小計(5)	—	345	356	19	11
第10グループ	岡山旭川	4	36	37	2	1
	岡山中央	4	24	25	5	1
	岡山北	4	49	51	4	2
	岡山南	4	152	159	20	7
	玉 野	4	25	25	0	0
	小計(5)	—	286	297	31	11
第11グループ	岡山備南	4	20	21	1	1
	岡 山 城	4	20	21	1	1
	岡山岡南	4	25	25	2	0
	岡山丸の内	4	50	51	4	1
	岡 山 西	4	66	73	14	7
	岡山西南	4	48	53	7	5
	小計(6)	—	229	244	29	15

地区クラブ内の状況

クラブ数	65 RC
2023年 7月1日会員数	2,862 名
2024年 4月末日会員数	2,938 名
内 女性会員数	238 名
純 増	76 名



国際ロータリークラブ第2690地区

石倉貞昭地区ガバナー事務所

〒690-0852 島根県松江市千鳥町 36 番地 宍道湖しみ館
 TEL: 0852-26-2690 FAX: 0852-26-2691
 E-mail: ishikura2690@theia.ocn.ne.jp
 https://ri2690.org

